

10月24日「安全な農産物を食卓へ(GAP手法に関する意見交換会)」(中国四国農政局) アンケート集計表

出席人数: 95      有効回答: 77      回答率: 81%

問1 あなたはどのような立場で参加しましたか。

	1 消費者団体	2 食品関連事業者(団体を含む)	3 生産者(団体を含む)	4 主婦	5 学生	6 無職	7 地方自治体職員	8 国家公務員	9 その他	* 未記入
問1	4	16	11	1	0	3	32	0	9	1
	分析会社。研究開発者。農業資材関連会社。									

問2 本日の意見交換会の開催を、どのような方法で知りましたか。

	1 農林水産省のHP(報道発表資料)、配布物	2 農政局のHP、配布物	3 農政事務所のHP、配布物	4 その他の行政機関のHP、配布物	5 メールマガジン	6 新聞、雑誌等	7 所属団体からの連絡	8 その他	* 未記入
問2	59	16	7	10	2	5	26	5	2
	消費者団体を通じて知った。								
	農林水産省への問い合わせ時に知った。								

問3 本日の「GAP手法に関する意見交換会」に参加された目的は何ですか。

	1 GAP手法に関して理解を深めるため	2 GAP手法に取り組始めた産地を指導するため	3 GAP手法実践の先進事例を聞くため	4 その他	* 未記入	0	0	0
問3	59	5	17	3	0	0	0	0
	食品産業や行政関係がどう推進していくのか知りたい。							
	県内のGAP推進の参考とする為。							

問4 「GAP手法(農業生産工程管理手法)」のことを知っていましたか。

	1 聞いたことがある	2 聞いたことがない	3 内容も知っている	* 未記入	0	0	
問4	39	15	22	1	0	0	

問5 前半に行った説明についておたずねします。

問5-1 説明者の説明内容はわかりやすかったですか。

	1 わかりやすかった	2 おおむねわかりやすかった	3 どちらでもない	4 ややわかりにくかった	5 わかりにくかった	* 未記入
問5-1	22	42	9	1	1	2

問5-2 説明内容について理解できましたか。

	1 理解できた	2 おおむね理解できた	3 どちらでもない	4 あまり理解できなかった	5 理解できなかった	* 未記入
問5-2	23	40	10	3	0	1

問5-3 (②の質問で4または5と回答した方)

十分に理解することが出来なかった理由は次のどれですか。(当てはまるものすべて)

	1 スライド資料がわかりにくい	2 専門用語が多い	3 説明が早すぎる	4 よく聞こえない	5 その他	* 未記入
問5-3	1	2	1	0	1	72

問6 後半に行ったパネルディスカッション及び意見交換についておたずねします。

問6-1 司会者の進行は適切でしたか。

	1 適切だった	2 おおむね適切だった	3 どちらでもない	4 あまり適切ではなかった	5 適切ではなかった	* 未記入
問6-1	11	30	14	7	2	13

問6-2 発言者の声はよく聞こえましたか。

	1 聞こえた	2 おおむね聞こえた	3 あまり聞こえなかった	4 聞こえなかった	* 未記入	
問6-2	62	7	1	0	7	

問6-3 様々な立場の方がお互いに広く意見交換できていましたか。

	1 できていた	2 ややできていた	3 どちらでもない	4 あまりできていなかった	5 できていなかった	* 未記入
問6-3	8	31	17	7	3	11

問6-4 意見交換の時間は十分でしたか。

	1 長かった	2 やや長かった	3 ちょうど良かった	4 やや短かった	5 短かった	* 未記入
問6-4	2	7	36	8	9	15

問7 意見交換会の内容について満足できましたか。

	1 できた	2 おむねできた	3 どちらでもない	4 あまりできなかった	5 できなかった	* 未記入
問7	6	38	13	10	2	8

満足できなかった理由 改善点が手洗いという衛生面が全面出ている、その他には良い食品作りの苦勞が見えなかった。

ある程度の互いの理解と打ち合わせは必要ではないのか。
あまり議論がかみ合っていないように感じた。
GAPの具体的取組み策についてもっと知りたい。
GAPのコストでなく、水耕栽培にコストがかかったのではないのか。
無理やりディスカッションした感じが見える。
国の方向性を皆が納得する内容となり得ない。
パネリストの発言が同じ内容の繰り返しだった。
パネリストの話は良かったが、時間がなすぎた。

問8 意見交換会を開催したことを評価しますか。

	1 評価する	2 おおむね評価する	3 どちらでもない	4 あまり評価しない	5 評価しない	* 未記入
問8	27	30	6	3	2	9

問9 日頃からご関心の高いものについて、3つまでご回答ください。

	1 残留農薬	2 食品添加物	3 動物用抗菌性物質(いわゆる抗生物質等)	4 環境からの汚染物質(カドミウム、メチル水銀、ダイオキシン類等)	5 天然毒素(カビ毒等)	6 加工中に生成する汚染物質(アクリルアミド等)	7 家畜の病気(BSE、鳥インフルエンザ等)	8 有害微生物(病原性大腸菌、サルモネラ菌等)	9 遺伝子組換え農産物	10 食品表示	11 トレーサビリティ	12 その他	* 未記入
問9	49	21	11	19	6	6	4	7	13	35	26	3	6
<p>HACCP</p> <hr/> <p>国産農産物の安全性と生産者負担の適切なバランス。消費者の理解促進。</p> <hr/> <p>消費者の理解促進。</p>													

問10 本日の「安全な農産物を食卓へ(GAP手法に関する意見交換会)」の感想、その他運営などで、何かお気づきの点や感じたことがございましたらご記入ください。

問10	<p>農産物は生物であることや、自然環境に影響を受けるものであるため、工程管理手法を導入しても安全性や品質の統一を図るのは困難ではないか。</p> <p>生産者の取組にコスト負担が生じるので、消費者の購買意欲につながる仕組みにしなければGAPは生産者に根付かないのではないか。</p> <p>GAP手法を普及させるためには、積極的に国民全体への情報提供を行う必要がある。</p> <p>GAPに取り組む生産現場へ、消費者に来てもらい理解を深めてもらうことが良いPRとなるのではないか。</p> <p>「GAP」、「農業生産工程管理」の用語は、生産者、消費者とも分かりづらいので、もっと分かりやすい用語にすべきではないか。</p> <p>国の資料1の最終頁のグラフは、現状の汚染度が高く、またGAP実施後も基準を超えるものが存在し、適切な資料と思えない。</p> <p>JGAP認証を取得できるくらいの取組でなければ、農業は他産業に遅れを取ってしまうのではないか。</p> <p>JGAPの取組は難しいものと感じた。</p> <p>露地野菜や米穀の場合のGAPの取組について知りたい。</p> <p>流通業者から見て、消費者がここまでの安全性を求めているのか、疑問に感じた。</p> <p>消費者から見て、JA雲南や香川県三木町の取組みは、非常に安心できる取組であると感じた。国は普及に力を入れて欲しい。</p> <p>消費者は、安全・安心・低コストを求めている。生産者には地道な努力をお願いしたい。</p> <p>前半の情報提供の時間が短かった。</p>
-----	---

パネルディスカッションの時間を長く取るべき。

パネルディスカッションのストーリーの組み立てを明確にして欲しい。

会場との意見交換は、適宜パネルディスカッション中に取ったらどうか。

時間がずれ込むので、もっと早い時間から初めてはどうか。

パネルディスカッションは良いキャスティングであった。

実際にGAPの取組みを聞け、GAP推進業務の参考となった。

各方面の意見を聞けて有意義であった。今後もこのような会を続けて欲しい。

普及のためなら、対象を生産者か消費者に限定したほうが良い。

資料を広げたりメモを取るのに、机が欲しかった。

(事務局から)

アンケートにご協力いただきありがとうございました。  
今回いただいたご意見は、担当者に伝えるとともに、今後の意見交換会の運営に役立てて参りたいと思います。

(問い合わせ先)

農林水産省中国四国農政局消費・安全部消費生活課 担当:道下、柚木  
TEL. 086-224-4511 (内線 2312、2319) / FAX. 086-224-4530